

## ○滑舌のはなし

母音は3歳頃からはっきりと発音できるようになります。

力行やサ行は6歳頃に完成すると言われていたますが、発音できるようになる時期には個人差があります。

舌の動きや口回りの筋力が育つと、はっきり発音できるようになります😊

舌の器用さと指先の器用さは関連しているので、手先を使う遊びもおすすめです。

- ・口を使う遊び（シャボン玉やストローの使用など）
- ・指先を使う遊び（つみきや折り紙など）
- ・しりとりやかかるた（単語の最初の音・最後の音を認識する）
- ・手をたたきながら単語にふくまれる音の数を認識する



## ○吃音のはなし

幼児期の吃音は、2歳から4歳頃に始まることが多く、めずらしいものではありません。幼児の吃音の約7割から8割は、成長とともに軽快・消失すると言われています。

吃音が出始めた当初は、話し方を指摘しない、慌てて直そうとしない、ゆっくりと話すように強制しないことが望まれます。



ただし、まれに学童期以降まで続くケースもあり、「様子見」が良い場合と、専門的な支援が必要な場合を、時期をみて見極めることが重要です。目安として、吃音症状が6か月を超えて持続する場合や、症状の明らかな悪化が認められる場合には、一度耳鼻科や小児言語科等、小児の言語発達について相談できる医療機関に相談してみましょう。